

令和3・4年度 長崎県教育委員会指定

長与町立長与中学校

「ふるさとの新たな魅力を創出するキャリア教育実践事業」

研究紀要

1 研究概要

(1) 研究主題

ふるさとの新たな魅力を創出するキャリア教育の充実
～系統的な体験学習プログラム構築を通して～

(2) 研究仮説

長与中学校の全ての教育活動でキャリア教育の実施を図り、また、総合的な学習の時間の郷土学習において、系統的な体験学習プログラムに取り組むことで、ふるさとを担う実践力などを含めた、キャリア教育で目指す資質・能力が育成されるだろう。

(3) 長与中学校の研究の柱

1 長与中学校におけるキャリア教育の充実

①キャリア教育の体制づくり ②ループリック表の活用 ③キャリア・パスポートの活用 など

2 「系統的なふるさとの新たな魅力を創出する体験学習プログラム」の実践

①系統的な体験学習プログラムの構築 ②長与町の新たな魅力創出会議の活性化
③研究組織の見直し ④キャリア教育コーディネーター（CC）の協力体制の見直し
⑤異校種間の連携 など

3 学力向上（キャリア発達における相互的な学力の向上）

①主体性の評価研修 ②教科部会の充実 ③「ながよ」検定への取組 ④各教科学力向上プラン など

2 長与中学校のキャリア教育

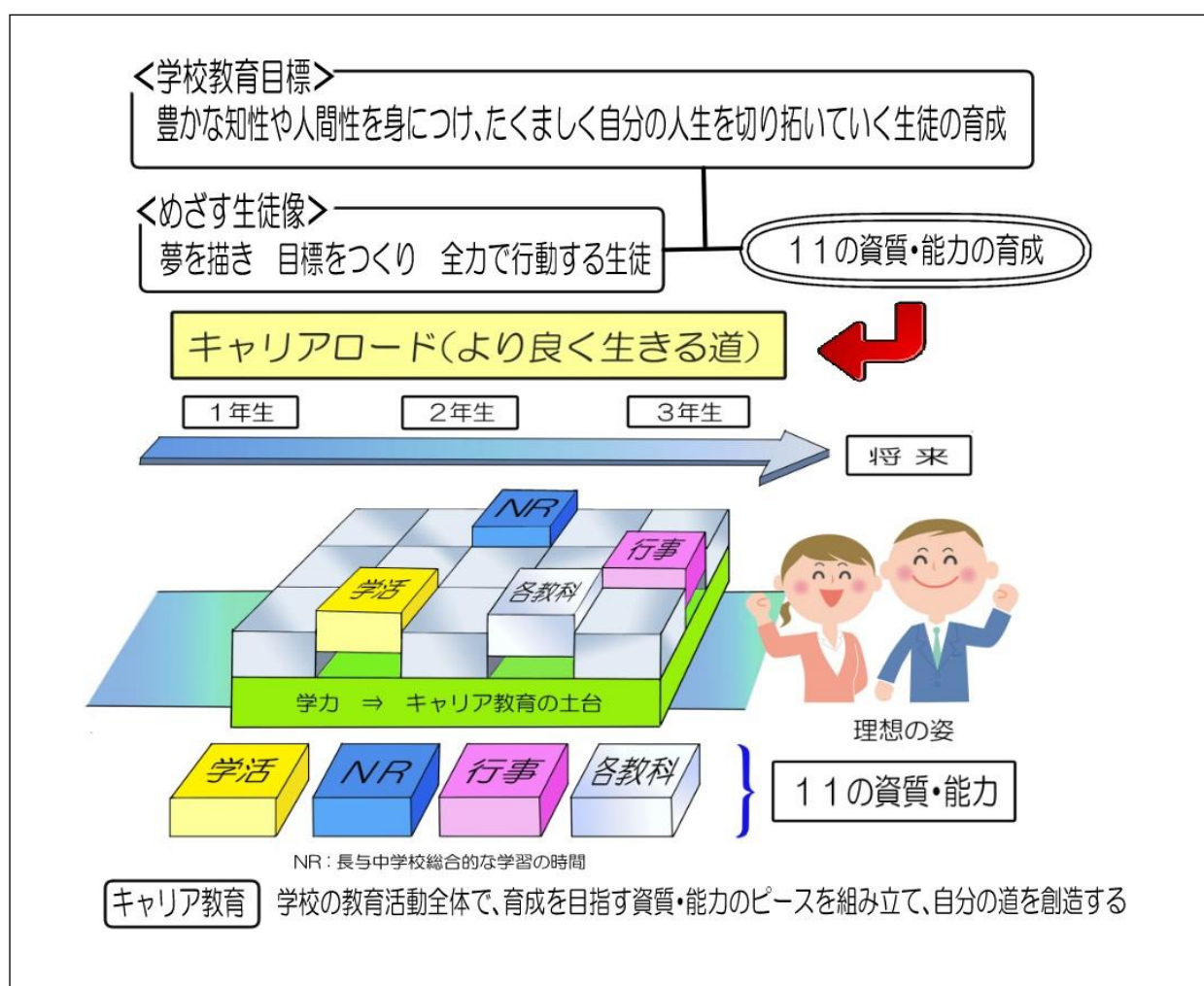
(1) 長与中学校のキャリア教育で育成を目指す11の資質・能力

1	自分自身の個性や適性を理解する力	学びに向かう力、人間性等
2	困難な課題に対して、粘り強く挑戦する力	
3	自己実現のために、主体的に学び続ける力	
4	課題解決のために、探究的な活動を企画し実行する力	
5	集めた情報を整理・分析し、相手や目的、意図に応じてわかりやすく、論理的に表現する力	思考力、判断力、表現力等
6	学校で学習することと将来働くことを関連付け、自己の生き方を考える力	
7	実社会・実生活の課題を把握し、これまでに身に付けた力を用いて課題解決に取り組む力	
8	異なる意見や考えを受け入れ尊重する力	知識及び技能
9	郷土の良さを理解し、発信する力	
10	地域の方との交流によって、郷土の現状を正しく理解する力	
11	郷土の現状を考え、自分に何ができるかを積極的に考え実行する力	

※キャリア教育で育成を目指す11の資質・能力の育成方法

①学校の教育活動全体での育成 ②ルーブリック表の活用 ③キャリア・パスポートでの振り返り

(2) 長与中学校キャリア教育イメージ図



3 系統的な体験学習プログラム

(1) 系統的な体験学習プログラム

1年生	2年生	3年生
ふるさと長与の良さと課題を知る	ふるさと長与の課題を解決する	ふるさと長与の魅力を創出し発信する
ふるさと長与について、これまでに知らなかった良いところや現実的な課題について、講話を聞くなどの体験活動を行うことでより深く知る。	1年生で調べたふるさと長与の課題について、具体的な解決方法を考え、体験活動によって解決する。	2年間の活動内容から、ふるさと長与の新たな魅力を創出し、発信する体験活動を行う。
<体験活動具体例> ・長与町史跡巡り ・長与町の子育て支援事業見学 ・果樹園（みかん）見学 など	<体験活動具体例> ・会社体験（オリーブオイル販売） ・海の環境保護活動 ・防災啓発活動 など	<体験活動具体例> ・行政相談員への要望提出 ・長与町の魅力発信動画作成 ・環境改善方法の研究 など
 つながり  つながり 		
【キャリア教育コーディネーター（CC）との連携】 ・キャリア教育コーディネーター（CC）：長与町役場、長与町社会福祉協議会、西そのぎ商工会、長与町の各種事業者など ・各学年の体験学習プログラムの中で 「課題設定」→「活動計画」→「体験活動」→「まとめ（次年度へのアプローチ）」の各段階でCCと協力する。 ※これまでよりも、生徒の目的に沿った、より現実的なレベルでの体験学習に取り組むことができる！！		
 1年 史跡巡り	 2年 オリーブ収穫体験	 3年 行政相談

(2) 長与町の新たな魅力創出会議（3者間協議）

①長与町役場（まちづくり担当）	②長与町教育委員会	③長与中学校
・活動の準備段階から互いに意見を出し合い、意思の疎通を図ることで、スムーズにCCと連携して学習を進めることができた。 ・それぞれがコーディネーターとして、必要な連絡調整を行いスムーズな協力体制が構築できた。		

4 学力向上の取組

長与中学校はキャリア教育として「学力」の向上に真剣に取り組んでいます！

①「キャリア教育と学力向上の繋がり」で学力&資質・能力がUP！ ・各教科でのキャリア教育の意識（カリキュラム上での資質・能力育成場面の把握、教科版ルーブリック表の作成、振り返りシートでの資質・能力育成の振り返りなど）によって、資質・能力の向上が学力の向上につながる。
②「教科部会における『主体的に学習に取り組む態度』の育成・評価研修」で生徒の主体性UP！ ・「主体性」はキャリア発達における大きな要素。
③「『ながよ検定』への取組」で基礎学力UP！ ・基礎学力、粘り強さ、達成感などキャリア発達につながる。生徒の将来のために苦手な生徒を見逃さない！！

5 研究の成果と課題

(1) 研究の成果

1 長与中学校のキャリア教育で育成を目指す11の資質・能力の向上が見られた。

【2年間の比較（R3年6月⇒R4年9月）・2年生、3年生対象】

11の資質・能力		学年	時期	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
3	自己実現のために、主体的に学び続ける力	2年生	R3.6	18.9%	29.7%	28.4%	20.3%	2.7%
			R4.9	0.6%	18.2%	42.2%	35.7%	3.2%
		3年生	R3.6	7.3%	22.0%	38.0%	28.7%	4.0%
			R4.9	1.2%	6.5%	30.2%	47.3%	14.8%
11	郷土の現状を考え、自分に何ができるかを積極的に考え実行する力	2年生	R3.6	9.5%	42.6%	35.8%	9.5%	2.7%
			R4.9	1.3%	7.1%	46.8%	40.3%	4.5%
		3年生	R3.6	0.7%	10.0%	55.3%	30.0%	4.0%
			R4.9	1.2%	5.9%	33.7%	37.9%	21.3%

ほとんどの資質・能力について、2年間でレベル1・2の生徒の割合が下がり、レベル3～5の生徒の割合が上がった。キャリア教育の充実や系統的な体験学習プログラムの実践が、資質・能力の向上につながっていると考えられる。

<生徒の声>

- ・「1年生の頃と比べて積極性が強くなったので、自分でも嬉しいです。」（3年生）
- ・「将来、長与に何か貢献したいという思いが学習を通して強くなりました。」（2年生）

- 2 長与中学校でキャリア教育を進める意識が高まった。
- 3 地域を巻き込んだ体験学習の土台を構築することができた。
- 4 キャリア教育実践が更なる学力向上に繋がった。

(2) 研究の課題

- 1 キャリア教育の更なる充実（キャリア・パスポートの更なる活用方法の考案、ループリック表の見直し、資質・能力育成に向けたアプローチ表の作成・活用など）
- 2 地域を巻き込んだふるさとキャリア教育実践の更なる充実（小学校・高等学校・大学との連携、役場との連携強化、更なるCCの開拓、地元企業との連携、キャリア教育実践の伝達など）
- 3 持続可能な体験活動の選定（体験学習プログラムの見直し、予算変更に伴う活動内容の見直しなど）
- 4 キャリア教育と学力向上の繋がりモデル化（実践モデルの構築）
- 5 系統的な体験学習プログラムの継続

長与町立長与中学校

「全力長与 感動長与 置かれた場所で咲く努力」

〒851-2124

長崎県西彼杵郡長与町丸田郷194番地

TEL：095-883-2009

FAX：095-883-7800

Email：nagayojh@ngs1.cncm.ne.jp

長与中学校 HP：https://t-nagayo.sakura.ne.jp/jh/nagayo/

